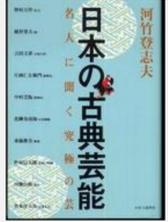
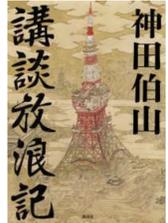


# 伝統芸能について学べるおすすめ本

太古から現代まで連綿と受け継がれてきた日本の芸。話芸、歌舞音曲、演芸など日本固有の芸能の基礎的な知識を得ることができる「入門編」を中心にしたおすすめの本です。

荒尾市立図書館ブックリスト No.47  
「伝統芸能の本」 2026.1月

No		
1		<p><b>上方伝統芸能 あんない</b></p> <p>上方の伝統芸能を気軽に楽しむためのガイドブック。各界を代表する、錚々たる面々のインタビューも読みごたえ十分。仕事帰りに映画を観に行く気分を上方伝統芸能を楽しむための、最高の入門書です。</p> <p>①堀口 初音 ②創元社 ③772.16 ホリ ④2011 ⑤10065952</p>
2		<p><b>日本の古典芸能</b></p> <p>狂言師・野村万作、歌舞伎俳優・中村芝翫、雅楽演奏家・東儀俊美など10人の名人達との対談集。親しい著者だからこそ聞ける貴重な話の数々。芸の秘密はもちろん、対談の随所に普通には聞けない率直な心の内やハツとする言葉やその人らしいエピソードなどがちりばめられて、興味深く読むことができます。</p> <p>①河竹 登志夫 ②かまくら春秋社 ③772.1 カワ ④2007 ⑤10049129</p>
3		<p><b>ゼロから分かる！図解 歌舞伎入門</b></p> <p>歌舞伎ってこんなにおもしろい！図解だからよくわかります。歌舞伎座ってどんなところ？どんな演目があるの？最初はどれから観ればいい？はじめてでも理解できる？鑑賞の仕方は？基礎知識から意外な豆知識まで盛りだくさんに楽しめる1冊です。</p> <p>①新居 典子 ②世界文化社 ③774 ニイ ④2019 ⑤10092956</p>
4		<p><b>面白いほどよくわかる 歌舞伎</b></p> <p>歌舞伎の面白さをイラストや図を使って展開。歌舞伎の歴史、音楽と舞台装置などのほか、代表的な演目紹介や、最低限知っておくだけで何倍も歌舞伎を楽しめるポイントも解説されています。</p> <p>①宗方 翔 ②日本文芸社 ③774 ムナ ④2008 ⑤20028119</p>
5		<p><b>歌舞伎音楽事始 一音を聴く深く観る</b></p> <p>歌舞伎を構成する三要素「歌＝音楽」「舞＝舞踊」「伎＝演技」の一つである音楽。本書は、その歴史から『勸進帳』『助六』などの具体的な演目における音楽の使われ方や鑑賞ポイントまで、歌舞伎をより深く楽しむうえで知っておきたい情報を網羅し、歌舞伎の魅力に“音楽”という切り口から多面的に迫る充実の一冊です。</p> <p>①土田 牧子 ②NHK出版 ③774.7 ツチ ④2024 ⑤10107109</p>
6		<p><b>マンガでわかる 文楽</b></p> <p>文楽は、人形たちの織りなす時代劇ミュージカル。笑いあり、涙あり、忠義あり、愛も裏切りもかたき討ちも無理心中もなんでもあり！初心者さんからマニアの方まで楽しめる、文楽の魅力がぎゅっと凝縮した1冊です。</p> <p>①マンガでわかる文楽編集部 ②誠文堂新光社 ③777.1 マン ④2019 ⑤10101344</p>
7		<p><b>文楽へようこそ</b></p> <p>文楽は、太夫、三味線、人形遣いが三位一体となって創られる舞台です。とくに、まるで命が宿ったかのような人形の表現力には初心者でも自然と引き込まれます。これは、その人形を遣う、桐竹勘十郎さんと吉田玉女さんという、良きライバルであり友人でもある人気のお二人が案内する今までにない文楽本です。</p> <p>①桐竹 勘十郎 ②小学館 ③777.1 キリ ④2014 ⑤10080584</p>
8		<p><b>これで眠くならない！能の名曲60選</b></p> <p>日本の伝統芸能、文化・芸術に精通する著者が、「眠くならない指数」「上演頻度」など、ユニークな指標を使った評価や、写真やイラストを大胆に使って、初心者も楽しめる能を案内。装束や楽器、能面などを支える周辺もいねいに解説し、曲の背景にある文化や歴史もわかるようになっています。</p> <p>①中村 雅之 ②誠文堂新光社 ③773 ナカ ④2025 ⑤10110811</p>
9		<p><b>能のふるさと散歩 京都・奈良編 (改訂新版)</b></p> <p>京都・奈良を舞台にした能の曲をとりあげ、能のストーリーと役柄、その舞台の特徴や見方を、能楽カメラマンとして長年にわたり見つめてきた著者ならではの視点で紹介されています。旅のガイドブックであり、能の解説、入門書としても役立つ一冊です。</p> <p>①岩田 アキラ ②檜書店 ③773 ノウ ④2020 ⑤10090386</p>
10		<p><b>あらすじで読む 名作狂言50</b></p> <p>日本伝統の「笑いの芸術」をわかりやすくガイド。豊富な写真による演目の紹介に加えて、演者へのインタビューやエッセー、基礎知識などを収録し、初めてでも「狂言」の世界を楽しめます。</p> <p>①小林 貴/監修 ②世界文化社 ③773.9 コハ ④2005 ⑤10062711</p>

No		
11		<p><b>ゼロから分かる！図解 落語入門</b></p> <p>初心者必携！落語のあらゆるギモンをイラストで分かりやすく解説。もっと落語が楽しくなる！寄席ってどんなところ？どんな噺があるの？そもそも落語って何？など…基礎知識から意外な豆知識まで盛りだくさんに楽しめる1冊です。</p> <p>①稲田 和浩 ②世界文化社 ③779.13 イナ ④2018 ⑤10081749</p>
12		<p><b>古典落語面白キャラの味わい方</b></p> <p>古典落語の人物たちは、まさに人間の個性の見本市です。立川流真打の著者が、演者目線で面白キャラの個性を深読みし、現代を明るくしなやかに生き抜くヒントを提案しています。</p> <p>①立川 談慶 ②有隣堂 ③779.13 タテ ④2023 ⑤10105315</p>
13		<p><b>講談放浪記 神田伯山</b></p> <p>伯山が名作講談の舞台となった場所を訪ねて、講談の持つ物語としての魅力を紹介し、また、他芸能・他ジャンルの城ともいべき場所を訪ねて、講談という芸能の未来について再考しています。現場に行っている論考だからこそその臨場感が迫ってきます。</p> <p>①神田 伯山 ②講談社 ③779.1 カン ④2023 ⑤10103906</p>
14		<p><b>雅楽 一時空を超えた逢かな調べ</b></p> <p>1400年にわたり王権を支える儀式音楽として続いてきた日本の雅楽。実際の「舞人」の視点から、雅楽の伝来、花開く平安王朝文化の隆盛、そして、現在に至るまでの来歴を語りつつ、知られざる雅楽の全貌が示されています。</p> <p>①鳥居本 幸代 ②春秋社 ③768.2 トリ ④2007 ⑤10048777</p>
15		<p><b>江戸の怪談がいかにして歌舞伎と落語の名作となったか</b></p> <p>「四谷怪談」「皿屋敷」「牡丹灯籠」「累」といった「江戸の四大怪談」を中心に、元ネタや作品ごとの変化の過程、それらを受け入れた観客のニーズや社会背景などを解説。多種多様な「江戸怪談もの」の名作の魅力を楽しみつつ、当時の人々の心理や現代との共通点などの理解も深められます。</p> <p>①櫻庭 由紀子 ②笠間書院 ③388.1 サク ④2022 ⑤10100401</p>
16		<p><b>いっしょに探検！日本の伝統文化と芸術 3</b></p> <p>シリーズ全4巻のうち、3巻では能・狂言・歌舞伎を解説。「伝統を探検！興味をみつける、はじめの一步」として、それぞれの項目で3択クイズから入り、知っておきたい基本的な事柄が、絵図や写真を使ってわかりやすく説明、紹介されています。</p> <p>①稲田 和浩/監修 ②教育画劇 ③K361 イナ ④2025 ⑤20058490</p>
17		<p><b>絵で見てわかるはじめての古典 8巻</b></p> <p>日本の伝統的な舞台芸術として世界的にも名高い『能・狂言・歌舞伎』。その作品をはじめて古典に接する読者にもわかりやすく解説。写真やイラストなどのビジュアル資料も多数収録しており「読み」「聞き」「感じ」ながら作品を楽しむことができます。</p> <p>①田中 貴子/監修 ②学研教育出版 ③K910 エテ ④2012 ⑤20034993</p>
18		<p><b>子ども版声に出して読みたい日本語 10</b></p> <p>シリーズ全12巻の中の10巻目は、歌舞伎や狂言の名セリフを抜き出してあります。齋藤孝氏が、解説で「恥を捨てて大胆に名セリフをきめてみよう」と書いているように、役者さんになりきって大声で言ってみると伝統芸能のおもしろさも体感できるかもしれません。</p> <p>①齋藤 孝/編 ②草思社 ③K816 サイ ④2005 ⑤20023552</p>
19		<p><b>おもしろ落語図書館 その1</b></p> <p>見て聞く落語を、見て読む落語にした本です。笑い、人情とこっけい、奇想天外に駄洒落の落語ワールドに誘います。全10巻のうちこの巻には〈寿限無〉〈饅頭怖い〉〈ガマの油〉等10話があります。</p> <p>①三遊亭 円窓 ②大日本図書 ③K779 サン1 ④1996 ⑤20015707</p>
20		<p><b>ここがスゴイよ！ニッポンの文化大図鑑 1巻</b></p> <p>マンガの登場人物を取り上げ、ストーリーとともにその人物が取り組む日本文化を紹介。各文化の基本知識やルーツ・歴史をイラストや写真を使って説明しています。</p> <p>①ニッポンの文化大図鑑編集委員会 ②日本図書センター ③K382 ニツ ④2018 ⑤20043884</p>